

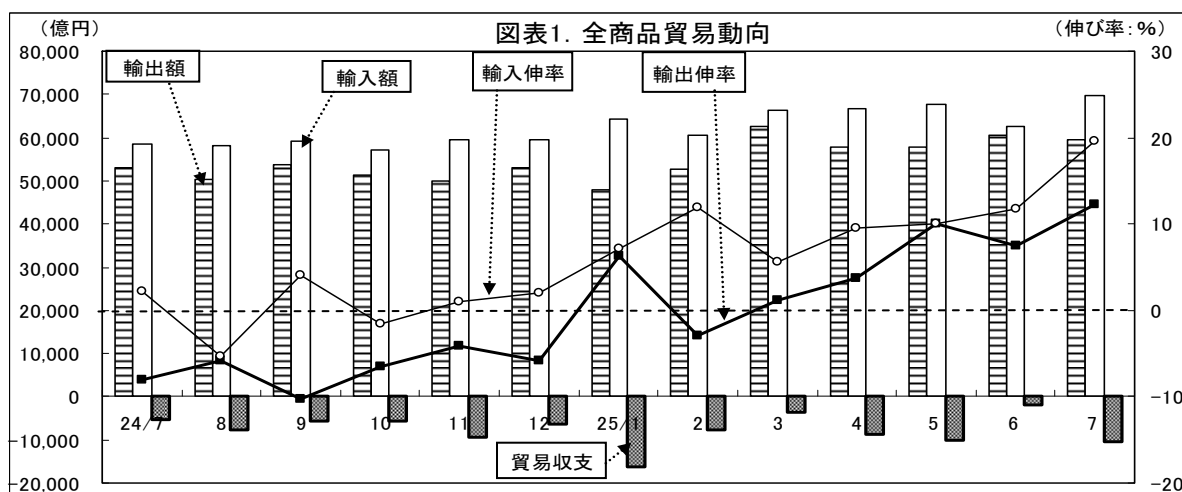
## 最近の機械貿易動向(7月)～機械輸出、3ヶ月連続でプラス～

日本機械輸出組合 2013. 9. 13.

平成25年7月の機械輸出額は3兆8,378億円、対前年同月比9.1%増と3ヶ月連続でプラスとなった。これは、①円安によって円建て輸出額が増加したこと、②米欧を中心に全ての地域向けでプラスになったこと、③機械輸出額の約35%を占める自動車の伸びが13.6%増となったことに加え、産業機械、電子デバイスが二桁増になったことなどによる。しかし、為替・営業日が19.1%の増加要因であったことを考慮すると、実質的な伸び率は10.0%減に拡大した。8月は円安が続き、営業日が1日少なく、合計10.5%の増加要因となり、機械輸出額が仮に7月の実質的伸び(10.0%減)が続くとすれば、前年比0.5%増と予想される。6日発表の貿易統計速報によれば、8月上中旬の全商品の輸出の伸びは16.8%増であった。

### 1. 全商品貿易動向～輸出は5ヶ月連続でプラス、貿易収支は13ヶ月連続で赤字～

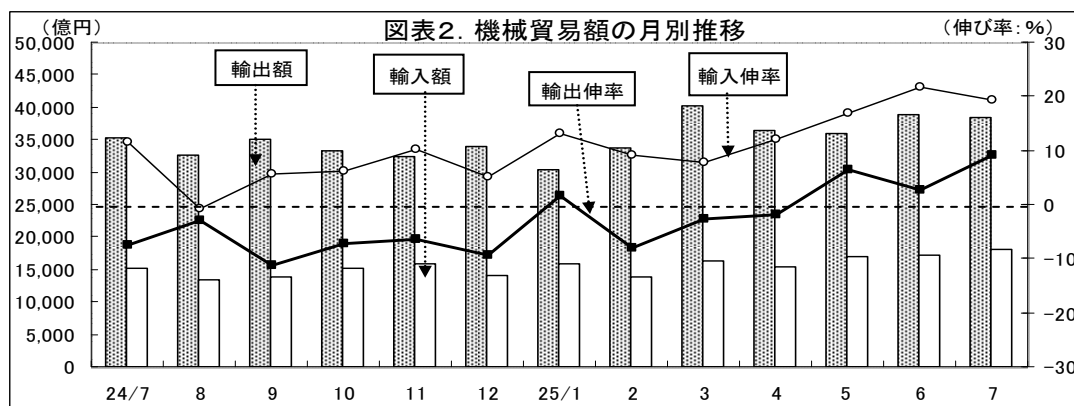
- 平成25年7月の全商品輸出額は**5兆9,605億円**、前年同月比(以下同じ)**12.2%増**と5ヶ月連続でプラスとなった(6月7.4%増)。これは円安による輸出額の拡大と全輸出額の約11%を占める化学製品(22.2%増)、約24%を占める自動車・自動車部品等輸送用機器(13.5%増)等の増加による。
- 輸入額は**6兆9,884億円**、**19.6%増**とプラス幅が拡大した(6月11.8%増)。これは、円安効果に加え、全輸入額の約31%を占める原油等鉱物性燃料(20.7%増)、約8%の電算機類(含周辺機器)等一般機械(24.3%増)、約7%の鉄鉱石等原料品(24.1%増)等が増加したためである。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、輸入の伸びが輸出を上回ったために、1兆279億円と1兆円を上回り、昨年7月以降13ヵ月連続で貿易赤字となった。



### 2. 機械貿易動向

#### (1) 機械輸出入動向～機械輸出3ヶ月連続、輸入は11ヶ月連続で増加～

- 全商品輸出額の約64%を占める7月の機械輸出額は**3兆8,378億円**、**9.1%増**と3ヶ月連続でプラスとなった(6月2.6%増)。輸出額の水準は、リーマンショック前(平成20年7月)と比べると**76.2%**となり、前月よりむしろ4.9ポイント後退した(6月81.1%)。
- 一方、全商品輸入額の約26%を占める機械輸入額は、**1兆8,015億円**、**19.2%増**と11ヶ月連続の増加となった(6月21.6%増)。また、輸入額の水準は、リーマンショック以前の**109.1%**と4ヵ月連続して上回っている(6月102.3%)。

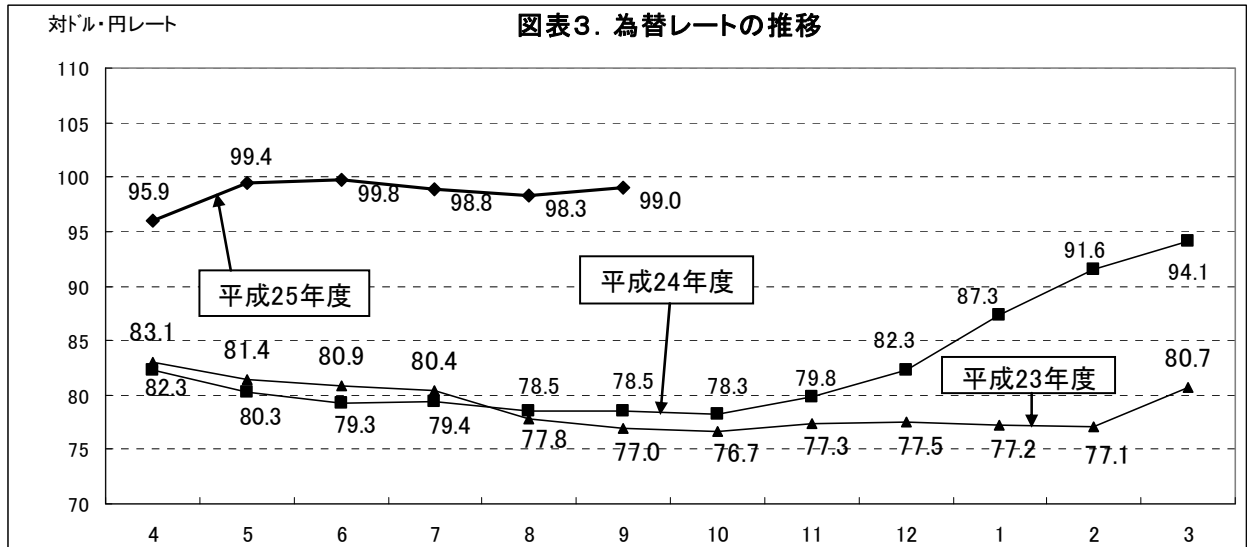


(2) 為替動向・営業日～7月は19.1%の大幅増加要因、8月は10.5%の増加要因～

1) 7月は1ドル=98.8円と円安が続き、前年に比べ24.4%の円安となった。また、対ユーロも129.3円と前年に対して30.7%と円安が進展し、合わせて約14.3%の為替増加要因となった。営業日は実働日が1日多いため4.8%の増加要因となり、増加要因は合計19.1%となる。7月の輸出額は9.1%増であったことから、実質的伸び率は10.0%減とマイナス幅が拡大した(6月7.5%減)。

2) 8月は1ドル=98.3円とやや円高に動いたが、前年に比べ25.2%の円安となった。また、対ユーロでは130.4円で前年に対し35.3%の円安となり、合わせて約14.9%の為替増加要因となった。営業日は実働日が1日少なく、4.4%の減少要因となり、合計10.5%の増加要因となる。

3) 9月は、対ドルが現状の99円とすれば、前年に比べて26.1%の円安、また、対ユーロも131円と32.3%の円安となり、合わせると約15.2%の為替増加要因となる。営業日は同じため、合計15.2%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～北米、EU、その他地域向けが二桁増、全ての地域でプラス～

1) 機械輸出額が増加した地域的要因は、①機械輸出額の24.2%を占める北米向けで、全体の約53%を占める自動車(25.9%増)、船舶(67.7%増)が増加し、16.5%増となったこと、②10.6%を占めるEU向けでは、全体の約19%を占める産業機械(31.6%増)をはじめ、自動車部品(23.3%増)、重電気機械(46.7%増)、工作機械(39.8%増)等が大幅にプラスとなり、13.2%増と2ヶ月連続でプラスとなったこと、③21.3%を占めるその他地域向けは、インド(13.9%減)が大幅減となったものの、中南米(24.6%増)、中近東(15.6%増)が大幅増となり、機種では、船舶(23.7%増)、乗用車(9.6%増)、重電気機械(17.0%増)が大幅にプラスとなって10.0%増となったこと、④17.1%を占める中国向けで、産業機械(15.0%増)、電子デバイス(14.0%増)、自動車(6.1%増)等がプラスとなり、5.1%増となったこと、⑤26.7%と最大輸出先のNIES/ASEAN向けで、韓国(23.6%増)が3ヶ月連続で10%超増加、香港(11.8%増)も二桁増となり、業種では、電子デバイス(16.4%増)、産業機械(10.6%増)、電子計算機(27.0%増)等が二桁増となって3.5%増となったことによる。

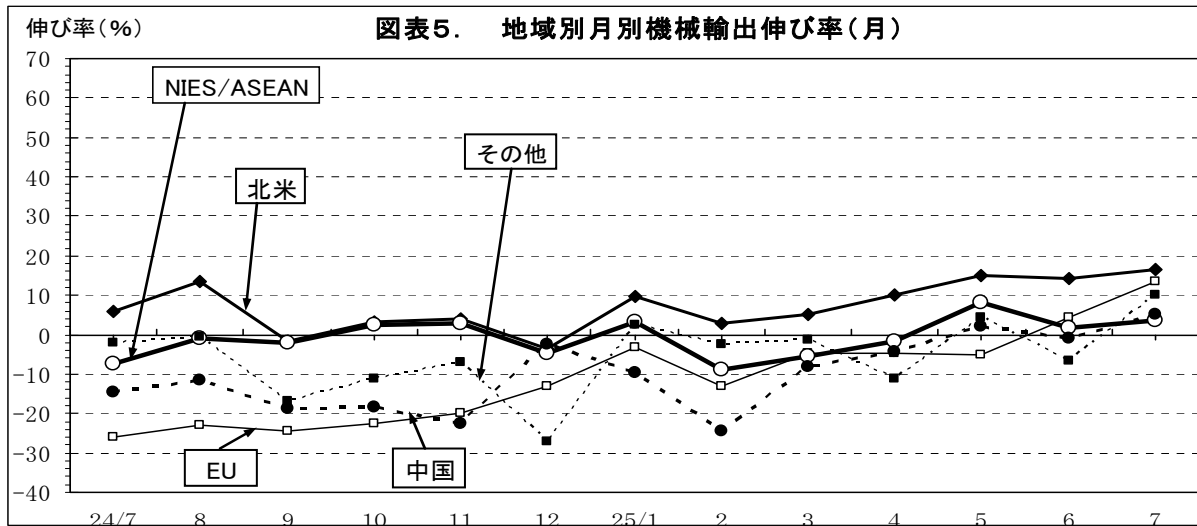
2) また、リーマンショック前の平成20年7月の地域別輸出額と比較すると、水準を超えた地域はなく、中国が94%、北米が90%、NIES/ASEANが82%、その他地域が64%、EUは53%と低い水準となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位:億円)

	2013/5			2013/6			2013/7			対08年7月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	35,866	6.4	100	38,783	2.6	100	38,378	9.1	100	0.76
北米	8,772	15.1	24.5	9,635	14.3	24.8	9,294	16.5	24.2	0.90
EU	3,655	▲4.9	10.2	3,948	4.5	10.2	4,072	13.2	10.6	0.53
NIES/ASEAN	10,224	8.2	28.5	10,983	1.8	28.3	10,264	3.5	26.7	0.82
中国	5,938	2.1	16.6	6,391	▲0.9	16.5	6,568	5.1	17.1	0.94
その他	7,276	4.4	20.3	7,826	▲6.5	20.2	8,180	10.0	21.3	0.64

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2013/4		2013/5		2013/6		2013/7	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,894	7.2	1,798	17.5	1,799	14.0	1,939	23.6
台湾	1,559	▲ 1.2	1,769	15.9	1,894	12.2	1,560	0.6
香港	1,461	▲ 3.7	1,649	28.2	1,674	2.4	1,601	11.8
タイ	1,853	▲ 6.3	1,741	▲ 0.1	2,030	1.1	1,895	1.0
シンガポール	944	6.7	807	▲ 5.0	917	▲ 13.9	807	0.7
インドネシア	918	▲ 9.6	826	▲ 12.3	955	▲ 6.5	752	▲ 12.5
マレーシア	677	▲ 3.9	629	▲ 9.3	701	▲ 11.6	660	▲ 7.7
フィリピン	534	▲ 7.1	500	▲ 3.5	518	▲ 7.0	528	▲ 6.6
ベトナム	362	2.2	401	47.4	385	7.0	423	▲ 7.3
その他地域								
中南米	2,018	▲ 27.1	2,690	28.0	2,372	▲ 19.8	2,931	24.6
中近東	1,547	6.5	1,440	9.6	1,594	7.8	1,633	15.6
大洋州	1,188	▲ 15.9	1,029	▲ 3.7	1,327	9.8	1,172	7.7
ロシア東欧等	1,376	6.6	1,119	0.2	1,270	2.6	1,253	▲ 5.5
アフリカ	590	▲ 12.3	555	▲ 38.6	697	▲ 26.8	716	▲ 1.1
インド	417	0.5	325	▲ 12.4	400	▲ 0.6	389	▲ 13.9

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～19業種中3業種がマイナス、自動車は4ヶ月連続、産業機械は3ヶ月連続プラス～

- 1)業種別では、全19業種中3業種がマイナスで、前月に比べ1業種減少した(6月4業種)。全体の約35%を占める自動車(13.6%増)が4ヶ月連続、約17%を占める産業機械(12.3%増)が3ヶ月連続でプラスとなったほか、電子デバイスが4ヶ月連続、医療機械が3ヶ月連続、繊維機械が6ヶ月連続で二桁増となり、船舶、電子計算機、農業機械も二桁増となった。
- 2)この結果、リーマンショック前の水準を超えたのは繊維機械、医療機械、ベアリングの3業種で、他方、通信機械、電子計算機、民生用電子機械、産業車両は、40%台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位: 億円、%)

2013/5				2013/6				2013/7				対08/7 比
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	12,125	6.2	33.8	自動車	13,469	9.2	34.7	自動車	13,596	13.6	35.4	0.77
産業機械	6,361	10.2	17.7	産業機械	6,534	4.9	16.8	産業機械	6,502	12.3	16.9	0.80
電子デバイス	2,985	16.4	8.3	電子デバイス	3,147	11.4	8.1	電子デバイス	3,139	14.8	8.2	0.70
重電気機械	1,867	10.2	5.2	軽電気機械	1,979	2.9	5.1	軽電気機械	1,980	7.7	5.2	0.77
軽電気機械	1,814	8.4	5.1	重電気機械	1,939	3.2	5.0	重電気機械	1,856	4.3	4.8	0.79
船舶	1,656	4.7	4.6	民生用電子機械	1,625	▲ 14.0	4.2	船舶	1,684	17.3	4.4	0.95
民生用電子機械	1,509	▲ 5.2	4.2	船舶	1,558	▲ 40.4	4.0	民生用電子機械	1,558	▲ 10.2	4.1	0.49
軽機械	1,375	11.1	3.8	軽機械	1,507	7.2	3.9	軽機械	1,387	2.9	3.6	0.77
光学機械	1,343	17.8	3.7	光学機械	1,347	7.0	3.5	光学機械	1,324	4.6	3.4	0.97
建設機械	876	▲ 19.7	2.4	建設機械	1,060	▲ 14.3	2.7	建設機械	1,011	▲ 10.2	2.6	0.64
工作機械	629	▲ 21.1	1.8	工作機械	688	▲ 19.6	1.8	工作機械	703	▲ 26.5	1.8	0.77
通信機械	409	5.5	1.1	電子計算機	489	21.3	1.3	電子計算機	460	24.0	1.2	0.47
電子計算機	371	2.9	1.0	通信機械	464	8.0	1.2	通信機械	400	3.0	1.0	0.46
ベアリング	359	3.4	1.0	ベアリング	397	2.3	1.0	ベアリング	393	7.4	1.0	1.01
陸用内燃機関	324	1.5	0.9	医療機械	389	25.3	1.0	医療機械	330	14.5	0.9	1.21
医療機械	312	12.1	0.9	陸用内燃機関	347	0.9	0.9	陸用内燃機関	330	5.5	0.9	0.76
繊維機械	199	22.9	0.6	繊維機械	212	38.9	0.5	繊維機械	226	55.9	0.6	1.26
農業機械	128	6.8	0.4	農業機械	171	8.4	0.4	農業機械	154	13.2	0.4	0.75
産業車両	110	▲ 1.1	0.3	産業車両	130	8.3	0.3	産業車両	128	0.0	0.3	0.49
19業種合計	34,750		96.9	19業種合計	37,452		96.6	19業種合計	37,161		96.8	0.75

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: パソコン、HDD、プリンター等部品。

軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～繊維機械、半導体製造装置等が大幅増加、発電機、デジカメ・ビデオ等は大幅減～

1) 10%以上の伸び率を示した機種は、①中国、その他地域、NIES/ASEAN 向け**繊維機械**(55.9%増)、②NIES/ASEAN、中国向け**半導体製造装置**(33.6%増)、③北米、EU 向け **TV**(24.9%増)、④全世界向け**風水力機械**(24.8%増)、⑤北米、NIES/ASEAN 向け**電子計算機**(24.0%増)、⑥NIES/ASEAN、中国向け**電池**(19.3%増)、⑦NIES/ASEAN、北米向け**電子応用装置**(18.3%増)、⑧その他地域(主として中米)向け**船舶**(17.3%増)、⑨北米、その他地域(主に中近東、大洋州、ロシア向け)向け**乗用車**(17.0%増)、⑩NIES/ASEAN、中国向け**電子デバイス**(14.8%増)であった。

2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、発電機(57.0%減)、デジカメ・ビデオ(31.3%減)、工作機械(26.5%減)、録画・再生期(18.3%減)、エアコン(12.0%減)、建設機械(10.2%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位: 億円)

2013/5			2013/6			2013/7		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
運搬機械	298	49.4	運搬機械	302	39.5	繊維機械	226	55.9
金属加工機械	320	27.6	繊維機械	212	38.9	半導体製造装置	1,217	33.6
繊維機械	199	22.9	TV	85	27.2	TV	83	24.9
電池	184	20.7	原動力機械	369	26.8	風水力機械	726	24.8
風水力機械	670	19.7	医療機械	389	25.3	電子計算機	460	24.0
TV	77	18.3	電池	208	23.9	電池	215	19.3
光学機械	1,343	17.8	電子計算機	489	21.3	電子応用装置	64	18.3
電子デバイス	2,985	16.4	半導体製造装置	1,151	16.9	船舶	1,684	17.3
医療機械	312	12.1	乗用車	7,826	15.1	乗用車	7,967	17.0
分析・試験・検査機	771	11.5	電子デバイス	3,147	11.4	電子デバイス	3,139	14.8
機種合計	7,159	20.0%	機種合計	14,178	36.6%	機種合計	15,781	41.1%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位: 億円)

2013/5			2013/6			2013/7		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
電子応用装置	23	▲ 54.6	船舶	1,558	▲ 40.4	発電機	73	▲ 57.0
発電機	82	▲ 53.6	デジカメ・ビデオ	512	▲ 35.9	デジカメ・ビデオ	484	▲ 31.3
録画・再生機器	8	▲ 50.2	発電機	102	▲ 29.7	工作機械	703	▲ 26.5
工作機械	629	▲ 21.1	電子応用装置	37	▲ 20.6	録画・再生機器	10	▲ 18.3
デジカメ・ビデオ	459	▲ 21.1	工作機械	688	▲ 19.6	エアコン	8	▲ 12.0
建設機械	876	▲ 19.7	建設機械	1,060	▲ 14.3	建設機械	1,011	▲ 10.2
エアコン	8	▲ 14.7	機種合計	3,957	10.2%	機種合計	2,289	6.0%
原動力機械	370	▲ 12.2						
機種合計	2,455	6.8%						

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内

(6) 機械輸入動向～電子デバイス、電子計算機、乗用車が大幅増、携帯電話が大幅減～

1) 7月の機械輸入伸び率は19.6%増と11ヶ月連続でプラスとなり、国内需要増を反映してここ4ヶ月の伸び率が高い。その要因は、最大輸入機種の電子デバイス(41.0%増)が8ヶ月連続二桁増、白物家電(24.5%増)が7ヶ月以上、分析・試験・検査機(31.8%増)が4ヶ月以上二桁増であることに加え、電子計算機(24.8%増)、乗用車(40.8%増)、航空機類(61.9%増)、医療機械(12.8%増)、風水力機械(36.1%増)の2桁以上の増加が大きく影響したためである。他方、減少したのは携帯電話(25.1%減)、民生用電子部品(1.1%減)等であった。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、白物家電、携帯電話、医療機械、時計、TV、録画・再生機器、ラジオとなっている。

3) 地域別機械輸入額は、全体の40%を占める中国(16.6%増)、ASEAN(15.1%増)、EU(20.4%増)、北米(23.9%増)、韓国・台湾(15.5%増)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位: 億円、%)

2013/5				2013/6				2013/7			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,011	36.1	11.8	電子デバイス	2,190	45.4	12.7	電子デバイス	2,206	41.0	12.2
電子計算機	1,740	2.5	10.2	電子計算機	1,790	19.0	10.4	電子計算機	1,982	24.8	11.0
携帯電話	1,356	174.6	7.9	携帯電話	1,262	76.2	7.3	乗用車	1,066	40.8	5.9
自動車部品	897	27.0	5.3	航空機類	891	▲ 31.9	5.2	自動車部品	959	9.7	5.3
白物家電	877	13.5	5.1	白物家電	867	13.6	5.0	白物家電	865	24.5	4.8
乗用車	774	0.5	4.5	乗用車	794	15.8	4.6	航空機類	661	61.9	3.7
航空機類	533	28.7	3.1	自動車部品	774	14.7	4.5	携帯電話	646	▲ 25.1	3.6
医療機械	498	7.2	2.9	医療機械	541	20.4	3.1	医療機械	581	12.8	3.2
民生用電子部品	343	▲ 3.6	2.0	光学機械	330	▲ 0.7	1.9	光学機械	396	1.5	2.2
分析・試験・検査機	318	20.0	1.9	民生用電子部品	314	▲ 3.5	1.8	民生用電子部品	375	▲ 1.1	2.1
風水力機械	290	12.7	1.7	原動力機械	308	154.8	1.8	風水力機械	336	36.1	1.9
光学機械	290	▲ 16.3	1.7	分析・試験・検査機	298	12.6	1.7	分析・試験・検査機	335	31.8	1.9
12機種合計	9,927		58.1	12機種合計	10,359		60.2	12機種合計	10,408		57.8

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電: 民生用電気機械